



キリチョンコ小学校 2期工事に着工!!

2月に6教室が完成します

昨年11月29日、延期されていたタケオ州キリチョンコ小学校の第2期工事(建設費約460万円)がセカンドハンドの支援で着工しました。建設は順調に進んでおり、2月には6教室1棟の新校舎が完成する予定です。現在、同校の生徒数は18クラス756人と教室はちょっと窮屈。子供たちは教室が増えることをとても喜んでいるそうです。



昨年3月、1期工事で6教室1棟が完成。そのまま2棟目の建設を始める予定でしたが、すぐに建設に入るとキリチョンコ村の負担が大きい、との申し出があり、着工は延期されて

いました。しかし、1期工事の完成後、木の下で行われていた授業(写真左)も解消され雨期にも安心して学校に来られると児童に大好評。出席率が100%になるなど学習意欲の向上が目覚ましく、村人から「次の工事はまだ始まらないのか」と2期分の早期着工を求める声が日に日に高まったのです。その声に村も動かされ、予定を大幅に繰り上げての工事開始が実現しました。

また、着工直前になって同校から「タケオ州の中心校にふさわしく、正門を建設して欲しい」との要望があり、急ぎよ、道路に面する進入路に門扉を建設することになりました(建設費約9万円)。

この校舎建設事業は「カンボジアに学校を贈る会」(千葉県)を通じて支援しています。

新教室で出席率100%



2期工事も順調に進んでいます。下は一期工事で完成した校舎



チャリティーコンサート 大盛況!!

セカンドハンドが主催するチャリティーコンサートが11月10日、高松市玉藻町の香川県民ホール・アクトホールで開かれました。

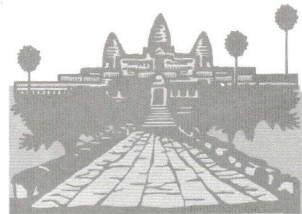
これまでセカンドハンドの活動を知らなかった人々にも、音楽を通して支援の輪を広げたいーそんな思いで取り組んだ初のコンサートでしたが、午後7時の開演時には客席は老若男女さまざまな層の方々がいっぱいになり、素晴らしいクラシックの夕べとなりました。

コンサートに併せて、ロビーではセカンドハンドの活動成果を紹介する写真展や、カンボジアの手工芸品の即売も行われました。来場された皆さんの関心は高く、こちらも大盛況でした。(コンサートの収支報告は3ページに詳細しています)



写真展の様子

カンボジアから感謝を込めて



・カンボジア大使館とセカンドハンド本部から感謝状贈呈・



駐日公使から感謝状を受ける図師愛子さん（富士店舗様）

今回のチャリティー・コンサートは、チェコ出身のヴァイオリニスト、パーヴェル・エレットさんと妹のヴィエラ・エレットヴァさん、ピアニストの津田真理さんの無償出演で実現しました。3人とも世界を舞台に活躍する演奏家で、中でもパーヴェルさんは昨年4月に名古屋フィルハーモニー交響楽団の首席コンサートマスターに就任したばかりで、今回が日本での初公演でした。

コンサートは、パーヴェルさんの高度な技術に裏打ちされた伸びやかな演奏とヴィエラさんのみずみずしい調べ、そして津田さんの絶妙なピアノによって、モーツァルトやベートーベンの数々の名曲が奏でられ、会場からは一曲ごとに大きな拍手が起こりました。予定されていたプログラムが終了しても客席からの拍手は鳴りやまず、3人は再度ステージへ。美空ひばりさんの「川の流れのように」が演奏されるという、うれしいハプニングに場内からは歓声が上がリ、大盛況のうちに幕を閉じました。

コンサートの幕あいを利用して、セカンドハンドの活動に協力していただいている方々に対し、ステージ上で感謝状の贈呈式が行われました。

今回、対象とさせていただいたのは、高松店を提供してくださっている富士店舗さん、輸送に協力いただいている佐川急便さん、パーヴェル・エレットさんらコンサートの出演者の方々など20人です。感謝状はカンボジア王国大使とセカンドハンド本部との連名で贈られ、ティアム・チュンイ公使から、一人ずつに手渡され、会場から大きな拍手が贈られました。

感謝状の内容は次の通りです。「あなたはチャリティーショップの定着と国際協力を進めるセカンドハンドの活動に対し、多大なる貢献をされました。（中略）あなたのご協力とご理解に対し、セカンドハンドとカンボジアの国民を代表して感謝状を贈呈します。」この他にもたくさんの方々のご協力によって、セカンドハンドの活動は支えられています。カンボジアの子供たちとともに、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。



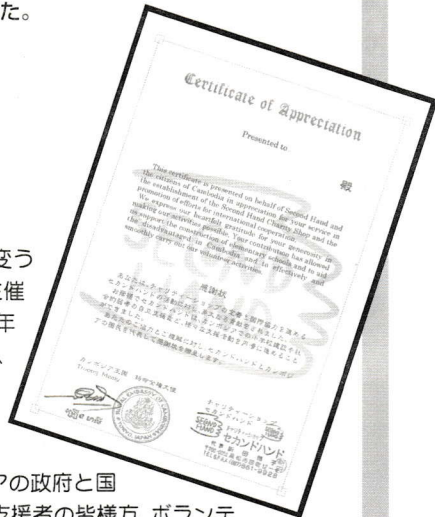
公使あいさつ

カンボジア王国駐日公使
ティアム・チュンイさん

ご来場の皆様、本日はこの美しい都市・高松で皆様とお会いすることができ、大変うれしく思います。高松を訪れるのは今回で2回目になります。今年の1月、香川県主催の「香川国際化ネットワーク整備事業」に参加させていただきました。その際、20年以上もの間、悲惨な内戦で苦しみ、助けを必要としている不幸なカンボジアの人々に、深い同情と思いやりを感じている寛大で友好的な日本人が香川県にたくさんいらっしゃるということを初めて知り、感激いたしました。

今日はあいにくトルング・メアリ大使が京都に予定があつてこちらに来ることができません。そこで大使に代わりまして私が、本日この場をお借りして、カンボジアの政府と国民を代表してセカンドハンド、新田さんをはじめ、その活動を支え続けてこられた支援者の皆様方、ボランティアの皆様方に深い感謝の気持ちを表したいと存じます。皆様方はカンボジアの教育、保健、社会福祉などの資金を集めるために、大変ご尽力されました。この国際人道主義的な活動を始めてからまだ5年目ですが、学校建設、教育資材の提供、難民への支援、歴史と文化の交流の推進、カンボジアの女性や地雷の障害者を支援する地元の非政府団体へのミッションや自転車、バイクなど不利な立場に苦しむカンボジア人に対する皆様方のご支援は、枚挙にいとまがありません。もちろんカンボジア王国政府からもセカンドハンドの活動は大いに評価され、今年、セカンドハンドは「国家復興功労メダル」を2度も授与されたところです。セカンドハンドはボランティアの心を持った方々が安心して応援できる、素晴らしい団体です。

今回の私の高松訪問に際して、いろいろご配慮いただき、また、温かいおもてなしまでしていただき、感謝にたえません。私はこれからもますます、東京のカンボジア大使館とセカンドハンドとの協力関係が深まることを確信しています。また、セカンドハンドの国際的活動の一掃のご発展をお祈りします。ありがとうございました。



チャリティコンサートアンケートより



☆ 72通のアンケート回答をいただきました。コンサートの感想・温かい応援の言葉…、これからの活動のパワーとなります。

★ヴァイオリンとピアノのハーモニーが素敵。

★言葉にできないほどの
素晴らしい音楽。

★心地良い音楽に満たされる快樂に
いつまでもひたりたい。

★人は助け合いながら生きていく。
これからも愛を与えて続けて下さい。

★切れ味のよい演奏を堪能いたしました。

★いつの間にか曲にあわせて
体が自然に揺れていた。

★なかなか聞けないヴァイオリンの生演奏が
格安で聞けて良かった。

★善意は持続を生みます。
みんなで支えていきたい活動です。

★日頃のウサを忘れました。

★ボランティアの人の

★(このコンサートのように) 知らず知らずに
ボランティアに参加しているなんていいですね。

明るく生き生きした
態度にすがすがしさを覚えます。

★セカンドハンドにエールを送ります。
私も何かの形で役に立ちたいと思う。

★世界の人々が物心共に豊かに
なりますように。

★私も小さなことから
ボランティアしたい。

【セカンドハンド活動についての写真展示を見て】

◆NGOの持つ可能性と必要性
を再認識させられる展示でした。

◆日本という恵まれた国で整備の整った環境で
学べることを感謝するべきだと気がついた。

◆次々と小学校が建設され、
日本人として嬉しく思います。

◆小さな力ががまとなって
大きな事業となることの素晴らしさがわかった。

◆自分の3人の子供に置換えて考えました。
支援の必要性を実感しています。



コンサートの決算報告

コンサートの収益金はすべてカンボジアへの教育支援に充てます。
皆様のご協力・ご支援に心より感謝申し上げます。

収 入		支 出	
チケット売上	2,164,000	会場施設使用料	152,140
CD売上金からの寄附	9,400	演奏者等の宿泊交通費	260,216
カンボジア商品売上	96,750	演奏諸費用(調律等)	28,570
募金箱	8,234	プログラム購入費	60,610
協賛広告(※1)	80,000	制作費(チケット等印刷)	88,834
寄附金(※2)	37,489	手数料(チケット取扱・振込)	1,230
合 計	2,395,873	合 計	591,600

チャリティ・コンサート収益金.....1,804,273円

(※1)NTTドコモ様、凡喰旺様 (※2)井上鈴子様、高松市役所様、高松西高等学校様、森谷良子様 (50音順)

緊急特集

あなたの力を貸してください！ 倉庫が悲鳴をあげて

発足以来、カンボジアへの教育支援を中心に活動を続けてきたセカンドハンド。その源は皆様からいただいた多くの提供品です。そしてそれらを保管する倉庫には、皆様の温かい気持ちがあふれています。しかし、今その倉庫では“気持ち”があふれすぎて、様々な問題を抱えています。この状況をご理解いただき、また、新たなご協力をいただきたく、緊急特集を組みました。

倉庫には7万点もの提供品が！

セカンドハンド倉庫は、高松市郊外の朝日新町にあり、弘陽商会・高杉様のご厚意でその3Fをお借りしています。そこに人の背をこえるスチール棚が約70。皆様からの提供品約7万点が保管されています。また、全国から多くの方々のご厚意＝提供品が1週間に約30箱届けられ、倉庫は現在、在庫で満杯状態になってしまいました。

倉庫はセカンドハンドの活動の出発点。

様々な作業が行われています。

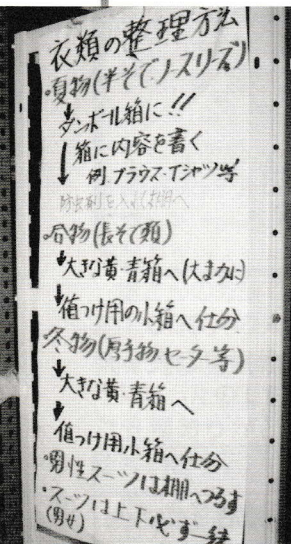
全国より届いた提供品は、最終的に「教育支援」という形にかわって、海の向こうのカンボジアに届きます。そのすべての始まりがこの倉庫。ここでは、いろいろな作業が行われています。①提供品の状態確認②「男ズボン」「女ワンピース」「子供服」…などの仕分け③「春物」「夏物」…の仕分け④金額別に仕分け⑤値段つけ⑥店舗へ運搬など。セカンドハンド各店舗で販売している商品は、このような作業を経て並んでいます。しかし、在庫数が7万点にもふくらんだ現在、この作業が追いつかなくなっているのです。

何が足りない？「人」が足りない！

倉庫作業が停滞したままでは、せっかくの皆様からの温かい気持ちを生かすことができません。現在のスタッフの数では残念ながら作業がこなせず、悪循環が起きているのです。

今、倉庫が悲鳴をあげています。

この状況を改善するためにまず必要なのは「人手」なのです。





いる



▲12月からセカンドハンドのお手伝いをしてくれている高校2年生のみなさん。右から三木麻夕さん、増田愛さん、岡裕美子さん、藤澤公美子さん。この笑顔は楽しみながらお手伝いできた証拠ですね？

倉庫作業に携わった人たちの声を聞いてください！

増田 愛さん(高校2年生)

学校で声をかけて、仲間を増やそうと思います。

学校の友達と4人で「なにかやりたい!」と、高松市役所でボランティア情報を見つけたのが、セカンドハンドのお手伝いをするきっかけに。昨年12月から数回、4人の時間を合わせて店番と倉庫での仕分け・値段つけを体験しました。倉庫作業の際は、提供品のあまりの多さに驚きましたが、3時間の立ち作業を乗り切れたのは4人一緒だったから。提供品を持って「これ似合う?」とお互い言いながら楽しくできました。今後も、セカンドハンドに携わっていくつもりです。また学校のほかの友達に声をかけ、ボランティア仲間を増やす予定です。

セカンドハンド倉庫担当スタッフ 磯部知恵子

誰にとっても“気持ちいい”活動でありたい。だから倉庫作業にご協力ください。

週に1度、倉庫担当スタッフとして、作業に携わるようになって約2年になります。倉庫作業をメインとしているスタッフは私を含め2名、1週間でも延べ5名ほどのスタッフのみ。しかし現実には、非常に多くの提供品が全国から届けられ、お店に出るまでの値つけなどの作業に時間がかかるため、商品の多くがお店に出にくい状況になっています。在庫を減らす、スペース確保...様々な解決策がありますが、スタッフの数が少しでも増えることが先決だと思います。作業は地味ですが、これこそがカンボジア支援の出発点。そうご理解いただき、提供者、購入者、スタッフ、すべての人にとってベストの状況になればと思います。

カンボジアへの支援総額

約4000万円

小学校校舎建設

4校6棟33教室

このほか、地球儀や教科書などの教材や、識字支援など、様々な教育支援を実現しています。

これらすべては、商品をご提供くださった皆様、商品をお買い上げいただいた皆様、そのほか様々な形で支援してくださっている皆様、ボランティアスタッフ、という多くの人達の“気持ち”が生んだ成果です。ありがとうございます。

感謝の意を新たにするとともに、これらの状況をご理解いただき、改めて皆様に協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

皆様に知っていただきたい!
セカンドハンドの活動は、
発足5年でこんな成果を
あげています。



倉庫ボランティア募集

倉庫での商品管理・搬入搬出の人手が足りません。是非、あなたの力を貸して下さい。

【作業日程】

- ・定期作業 1/28(木)・30(土)・2/3(水)
2/6(土)・10(水)・20(土)



※上記の日程以外にも、参加の可能な日程をご連絡ください。スケジュールを調整します。

- ・時間 9:00~18:00の間で調整



【参加申込】

- ・定期作業 個人でもグループでも参加をお願い致します。
- ・定期作業以外の日程(応相談)
5人以上のグループでの参加をお願い致します。

■申込:セカンドハンドTEL(087)861-9928

※短時間の参加も歓迎いたします。

※また、学校や企業等でボランティア研修としての参加もお待ちしております。

提供品(衣類)受付の一時中止のお願い

倉庫の過剰在庫の整理・販売のため、提供品のうち、衣類の送付受付を一時的に中止させていただきます。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

☆ 提供品・衣類...送付受付一時中止

- ・日用雑貨・食器類は、
従来通り受け付けます。

☆ 期 間 5月末まで(6月より受付予定)

SALE

1月末まで
安くなるヨ

在庫一掃だんだんセール

最終 1/26~31

100円均一

高松店・丸亀町店

学生服あります! 岡山店もセール実施中

この笑顔のために

今年も識字教育を支援します！



ASAC (カンボジアに学校を贈る会) を通して続けてきた識字教育支援も今年度で3年目を迎えます。長年の内戦による混乱と、教育が滞っていたことが起因し、現在カンボジアの識字率は173カ国中147位となっています。特に農村部の女性の識字率が低いのが現状です。

そういった文字の読み書きができない人々を対象に、8ヵ月のプロジェクトで教室を開き、ある程度文字の読み書きができるように教育していくのが識字教育です。

識字教材を通して、衛生や栄養、

保健学習、環境学習、農業技術、地区改良について間接的に学べるようになっており、生活環境の改善という点でも大きな意味を持っています。

今年度は、これまでの識字教育により非識字率が政府目標値の20%を割った地区を中断し、新しく学校を建設した地区を対象地区とし、昨年11月に開講しました。

ASACが識字教育事業をはじめて4年目になりますが、他団体からも高く評価されるようになったという報告を受け、これまで支援を続けてきたセカンドハンドとしても、とても嬉しく思っています。

識字教育事業には昨年度まで全額支援をしていましたが、今年度からASACの事業を支援するという形をとり、総事業予算\$14,743のうち\$10,000を支援しました。

今年度を終えると、セカンドハンドの支援で識字教育を終了した生徒は約1,000人となります。

皆さんのお蔭で、約1,000人の人が読み書きできるようになったのです！ご支援ありがとうございます。



修了証書を手に笑顔の講座生

ASAC事業

識字講座を修了

今年度で1000人が

セカンドハンド 今年の予定

2月 (22~3/3日)

カンボジア・スタディーツアー

4月 (29日) 総会

5月 (21.22.23日)

活動報告写真展&チャリティーバザー
=カンボジア・ツアー報告会・

カンボジア料理教室も開催予定!
丸亀町レッツ (高松市丸亀町商店街)

8月 (下旬) チャリティーバザー

丸亀町レッツ (高松市丸亀町商店街)

11月 (下旬) チャリティーバザー

丸亀町レッツ (高松市丸亀町商店街)

今年もよろしく
お願い申し上げます。



A HAPPY NEW YEAR

SPECIAL THANKS

富士店舗様 (高松・田町店)・ファンク岡山様 (岡山店)・弘陽商会様 (倉庫)・GINCHO 櫻村様 (高松・丸亀町商店街店を1/31まで) = 無料での場所提供ありがとうございます =、ミューズ音楽企画森様はじめ演奏者の皆様・池田経営コンサルタント池田様 = チャリティーコンサートにご尽力ありがとうございます =、アドメディアの東原様 (写真パネルの設営)、守様・杉尾様、高松工芸高校インターアクトクラブ・高松南高校3年11組・高松西高校1年7組の皆様 (募金ありがとう)、津田中学校の皆さん (募金&年末大そうじなど、お手伝いありがとう)、フリーダムネットワーク様・高松ギター音楽院様・香南町 西岡様、高松簡易保険センター様 (バザーでの場所提供)、堀尾電気様 (本部事務所の電気工事をありがとう)、ウインドシップ安部様 (コンパネ提供)、平野地域計画様、香川マツタ様 = いつも車の提供をありがとうございます =、佐川急便様、錦郵便局様、お手伝いいただいたスタッフの皆様、商品を提供して下さいました支援者の皆さま、いつもありがとうございます！

カンボジアスタディーツアー 参加者募集!!



98年スタディーツアーから

今年も恒例のカンボジアスタディーツアーを開催します。今回は(財)三菱銀行国際財団からの助成をいただき、より充実した内容で開催されます。

現地のNGOスタッフの協力を得て、民家でのホームステイも体験できます。

<<応募要項>>

- 日 程: 2月22日～3月3日まで(高松出発は 2/21夜)
参 加 費: 9万5千円(総費用19万円の半額は助成金を充当)
参 加 資 格: 高校生以上、30歳代までの国際協力に関心がある健康な方。
事前研修と5月下旬の報告会&写真展に参加できる人。
定 員: 10名(応募者多数の場合は書類・面接選考)
申 込 方 法: 簡単な履歴書と「カンボジア」か「ボランティア」「国際協力」についての作文を400字程度にまとめ、1月31日までにセカンドハンド本部に提出してください。履歴書は市販のもので結構です。
締 め 切 り: 1月31日
事 前 研 修: 2月中に2回開催予定
訪 問 先(予定): タケオ州 キリチョンコ小学校、オットンボー小学校
バタンバン州(ホームステイ&ボランティア活動)
ブノンペン(虐殺博物館、NGO団体訪問など)
シアムレアップ州 アンコールワットなどの遺跡群見学



問い合わせ先 :セカンドハンド本部
TEL087-861-9928 (新田、斎藤まで)



退任のご挨拶

事務局専任スタッフ 齋藤真示

チャリティーコンサートや写真展など様々なイベントを通し、たくさんの方々と出逢うことができました。短い間でしたがセカンドハンドに携われたことを嬉しく思います。皆さんがボランティア、国際協力に深く関心を持っていることを知り、この活動の重要性も身に染みて感じました。

専任スタッフとしては充分お役に立てないまま退きますが、今後はボランティアスタッフとしてセカンドハンドに携わっていきたいと思います。

事務局専任スタッフ募集!

月給15万円程度。国際援助団体などNGO関係で仕事をしたことのある方、語学の堪能な方、マネジメント職種の経験者は優遇します。年齢・性別は問いません。やる気と体力のある方を募集します。

詳しくはセカンドハンド本部までお問い合わせ下さい。

カンボジア・スタディーツアー参加者募集!

(財)三菱銀行国際財団助成事業



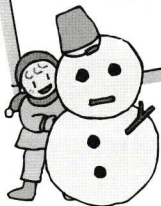
日程: 2月22日~3月3日

参加費: 9万5千円

募集要項: 7ページ参照



各店セール実施中!
SALE!
1月末まで



高松・丸亀町店 臨時オープン!

高松市丸亀町商店街に1月31日(日)までの臨時店がオープンしています。

12/20~1/31まで「GINCHO」櫻村様のご厚意で無料でお借りしています。こちらのお店でもセールを行っています。

※場所は「VIVRE」と「100円ショップ」のちょうどまん中あたり。「ドトール・コーヒー」の向い側です。入口が狭いので見逃さないで!



◆ボランティア募集!◆



- お店番スタッフ 各店とも募集しています。
- 運搬スタッフ 高松店←→倉庫の運搬。車の免許を持っている方。
- 倉庫スタッフ 基本的に水曜日が作業日ですが、それ以外の曜日でも結構です。ご相談下さい。仕分け作業や値段つけ作業です。



STOP!

提供品(衣類)の受け付け中止のお願い

過剰在庫と仕分けスタッフの不足のため、衣類の提供品はしばらくの間受け付け中止とさせていただきます。詳しくは4ページ、5ページをご覧ください。

岡山

■セカンドハンド岡山
〒700-0822
岡山市表町1-11-18
ファンク岡山1F
TEL&FAX 086-233-3673
(営業時間 11:00~19:00)
定休日:火曜日

セカンドハンド岡山
(ファンク岡山1F)

表町商店街
トマト銀行

三井信託銀行
県庁通り
バスセンター ● 天満屋 ●

丸亀

10月末でCLOSEしています。

現在、店舗を探しています。見つかるまでは、丸亀店の活動はお休みとさせていただきます。

閉店

高松

■セカンドハンド高松
■セカンドハンド本部
〒760-0053
高松市田町 12-4
TEL&FAX 087-861-9928
(営業時間 10:00~18:00)

マクドナルド
トキワ街
田町商店街
114銀行
観光通り
マルナカ

倉庫

セカンドハンド倉庫
(弘陽商会3F)
〒760-0064
高松市朝日新町17-20
弘陽商会3F
TEL&FAX 087-823-5530
(作業時間 水曜 11:00~16:30)
※商品を郵送する場合には高松店をお願いします

消防署
富山カルデヤベース
山内GS
さぬき浜街道
競輪場 ● 県立体育館

SECOND HAND

「セカンドハンド」は皆様から無料提供していただいた衣類や生活用品を販売し、その収益金すべてを援助にあてるチャリティショップです。主にカンボジアでの学校建設や識字教育など、教育支援をおこなっています。また、カンボジアの地雷による障害者など、経済的、社会的に立場の弱い人たちが作る商品を現地のNGOから輸入し、販売することで、自立を支援しています。店舗や倉庫は無料でお借りして、お店番などの活動は無償で働くボランティアスタッフが支えています。

1週間に1度、2時間程度で結構です。あなたもボランティアで世界の誰かのために役立ってみませんか?